

錦江湾高校 SSH通信



最近実施されたSSH事業を紹介

新聞ポスターコンテスト

1年生普通科を対象として、グループごとに、新聞から自分達が気になった記事をピックアップし、自分達の意見や情報を加えまとめ、発表しました。



小中学生探究コンテスト

2年生中間発表会

全2年生を対象として、現在の研究成果を発表する校内の中間発表会を開催しました。



アカデミックイベント

アカデミックイベント

1年生理科を対象として、鹿児島大学で物理・化学・生物・地学の4つの分野に分かれ、大学レベルの講義や実験を体験できる研修が行われました。

小中学生探究コンテスト

小・中学生を対象に夏休みの自由研究を発表するコンテストを開催し、多くの小中学生が参加してくれました。生徒児童の気づきを重要視したコンテストであり、審査員として大学の先生をお招きしました。

11月1日(火)・2日(水)に第29回鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会が開催されました。
 今年度の12月開催予定の九州大会、来年の7月開催予定の全国大会は鹿児島県で開催されます。(第47回全国高等学校総合文化祭)
 県大会で優秀な成績をおさめ、全国大会の切符を勝ち取った錦江湾高校の研究班を紹介します。

県大会生物部門 最優秀賞

ガトウムシ班

「なぜ、ガトウムシガトウムシはクモの巣に引っかかるのか?」というテーマで研究を行なっています。ガトウムシとオオヒメクモとの関係性を解明しています。



研究の様子

県大会生物部門 優秀賞

カブトムシ班

先行研究によってカブトムシは2種に分けられることが示唆された。ではその境界線はどこにあるのか?「境界線は台湾海峡にある」という仮説を羽化日や交雑実験から検証する!



県大会地学部門 優秀賞

BSアンテナ班

雨が降るとBS放送の映りが悪くなることから、豪雨予測に活用できないかと思いい研究を進めています。東京の企業とも連携し、実用化を目指しています。



研究の様子



県大会物理部門 優秀賞

サクラ班

「なぜ、サクラの散り方は美しいのか?~日本の美を科学する~」というテーマで研究を行なっています。サクラの花弁の落ち方には様々なパターンがあり、落下速度や距離も異なることがわかりました。



県大会物理部門 優秀賞

シャボン班

1年生女子生徒5人組です。シャボン玉を使って楽しく研究したいという思いがきっかけで、研究を行なっており、初めてのプレゼン作成なども経験することができました。



研究発表の様子



県大会物理部門 優秀賞

プロジェクター班

分光光度計という、研究には欠かせない高価な機器を学校のプロジェクターを用いて、測定部分をわずか1000円で作製しました。これから作製機器の精度を上げていきたいです。



大会後の様子



県大会化学部門 優秀賞

竹班

竹から取り出した溶液を利用することで「紫外線を遮断する」効果があることがわかりました。地元企業と連携して自然由来の日焼け止めの製品化を目指しています。



大会後の様子



上記の7班が全国の舞台で研究発表を行います!!
 生徒自身が気になることを探究し続けここまでできました。
 「好き」の原動力は素晴らしい!!

その他、今年度は多くの賞を獲得しています。
 一部以下に紹介します。

ガトウムシ班 Global Link Singapore (世界大会) 出場
 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 自然科学部門 奨励賞

竹班 サイエンスインターハイ@SOJO 金賞
 第66回 日本学生科学賞 県知事賞

